

# 三菱電機株式会社製 ベースユニット

## ご注意

ベースユニットの取付け穴（4ヶ所）位置は、SYSMAC Cシリーズ（C200H/CS/CQM1）ベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

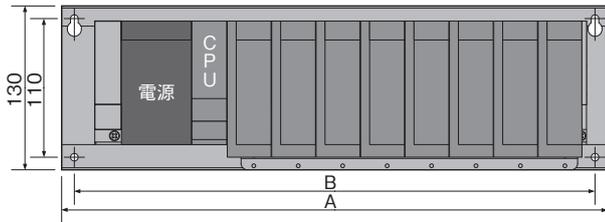
## C200Hシリーズ対応品

### 取付け寸法

SYSMAC C200HシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

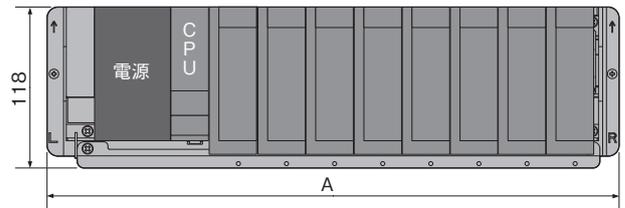
単位：mm

#### ◎AnSサイズ版Qラージベースユニット 盤面取付けタイプ



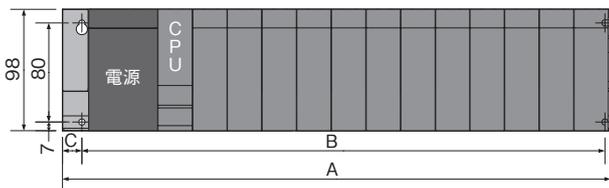
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A	B	取付け穴 ネジサイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット（電源あり）	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット（電源なし）	260	240	

#### ◎AnSサイズ版Qラージベースユニット DINレール取付けタイプ



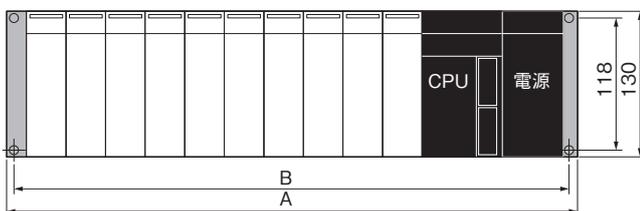
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	248

#### ◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	C	取付け穴 ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット （電源あり）	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B	増設ベースユニット （電源なし）	189	167	15.5	
Q55B		189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

#### ◎（参考）C200Hシリーズベースユニット



CSシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	取付け穴 ネジサイズ
C200HW-BC101-V1	CPUベース ユニット	505	491	M4
C200HW-BC081-V1		435	421	
C200HW-BC051		330	316	
C200HW-BC031		260	246	
C200HW-BI101-V1	I/Oベース ユニット	434	420	
C200HW-BI081-V1		364	350	
C200HW-BI051		259	245	
C200HW-BI031		189	175	

## 置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

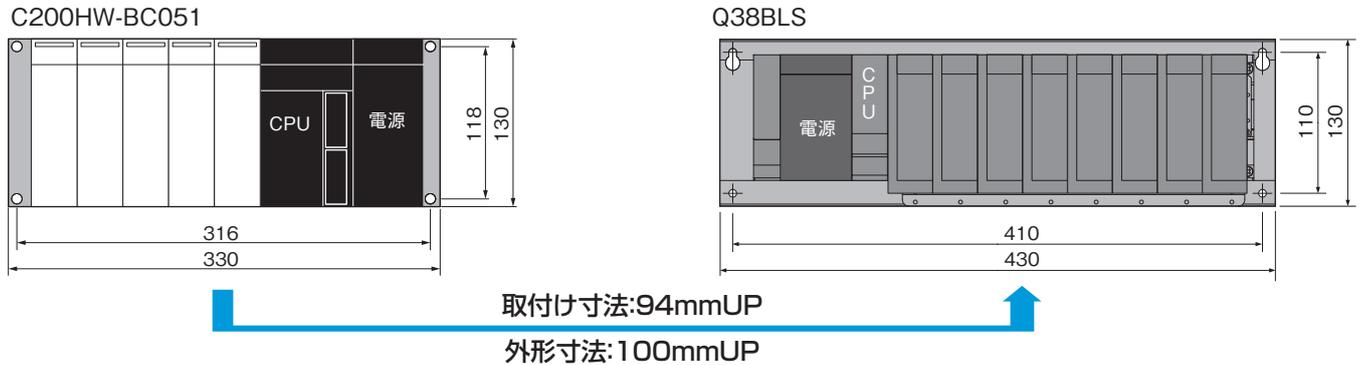
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴寸法が確認できます。

### ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記(例)の様に寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。  
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

(例) C200H (C200HW-BC051) からAnSサイズ版Qラージベースユニット (Q38BLS) に置換えした場合

単位:mm



## AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

### ① 基本ベースユニットを使用する場合

◎: 同一、○: C200Hシリーズの方が大きい、▲: C200Hシリーズの方が小さい

C200Hシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (AnSサイズ版Qラージ-C200Hシリーズ)				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-C200Hシリーズ)				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
C200HW-BC101-V1	あり	10	Q38BLS	あり	8	○ (-75)	◎	○ (-81)	○ (-8)	Q312B	あり	12	○ (-66)	○ (-32)	○ (-72)	○ (-38)	
C200HW-BC081-V1	あり	8	Q38BLS	あり	8	○ (-5)	◎	○ (-11)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (4)	○ (-32)	○ (-2)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-107)	○ (-32)	○ (-113)	○ (-38)	
C200HW-BC051	あり	5	Q38BLS	あり	8	▲ (100)	◎	▲ (94)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (109)	○ (-32)	▲ (103)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	○ (-5)	◎	○ (-11)	○ (-8)	Q38B	あり	8	○ (-2)	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	
C200HW-BC031	あり	3	Q35BLS	あり	5	▲ (65)	◎	▲ (59)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-85)	○ (-32)	○ (-91.6)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	▲ (68)	○ (-32)	▲ (62)	○ (-38)	
										Q33B	あり	3	○ (-71)	○ (-32)	○ (-77)	○ (-38)	

※1:( )値はMELSEC-QシリーズとC200Hシリーズの寸法差[単位:mm] ※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要がある

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：C200Hシリーズの方が大きい、▲：C200Hシリーズの方が小さい

C200Hシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (AnSサイズ版Qラージ-C200Hシリーズ)				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-C200Hシリーズ)				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
C200HW-BI101-V1	あり	10	Q68BLS	あり	8	○ (-14)	◎	○ (-20)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (5)	○ (-32)	○ (-3)	○ (-38)	
C200HW-BI081-V1	あり	8	Q68BLS	あり	8	▲ (56)	◎	▲ (50)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (75)	○ (-32)	▲ (67)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	○ (-36)	○ (-32)	○ (-44)	○ (-38)	
C200HW-BI051	あり	5	Q68BLS	あり	8	▲ (161)	◎	▲ (155)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (180)	○ (-32)	▲ (172)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (56)	◎	▲ (50)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (69)	○ (-32)	▲ (61)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	▲ (1)	◎	○ (-5)	○ (-8)	Q65B	あり	5	○ (-14)	○ (-32)	○ (-22.6)	○ (-38)	
C200HW-BI031	あり	3	Q65BLS	あり	5	▲ (126)	◎	▲ (120)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (139)	○ (-32)	▲ (131)	○ (-38)	
				なし	5	▲ (71)	◎	▲ (65)	○ (-8)	Q65B	あり	5	▲ (56)	○ (-32)	▲ (47.4)	○ (-38)	
			Q55BLS	あり	3	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	Q63B	あり	3	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	
				なし	5	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	Q55B	なし	5	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	

・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合があります

※1：( )値はMELSEC-QシリーズとC200Hシリーズの寸法差[単位:mm] ※2：穴同士の距離が近い場合、注意が必要

## スロット位置

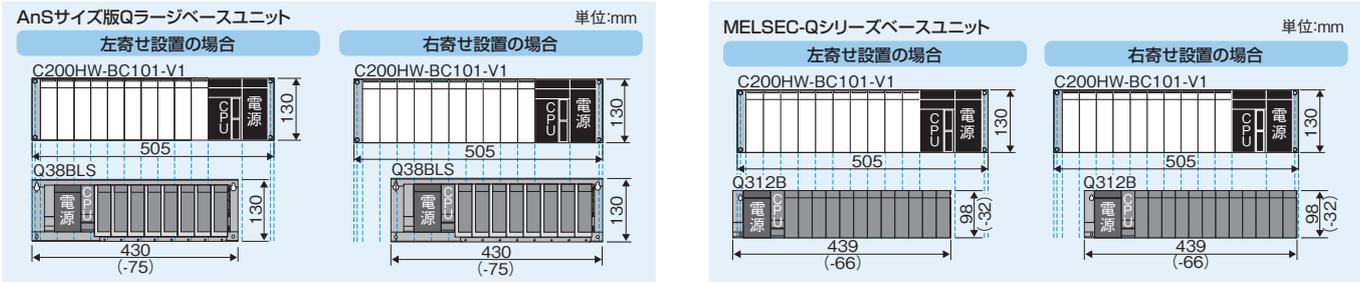
SYSMAC C200HシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

### ご注意

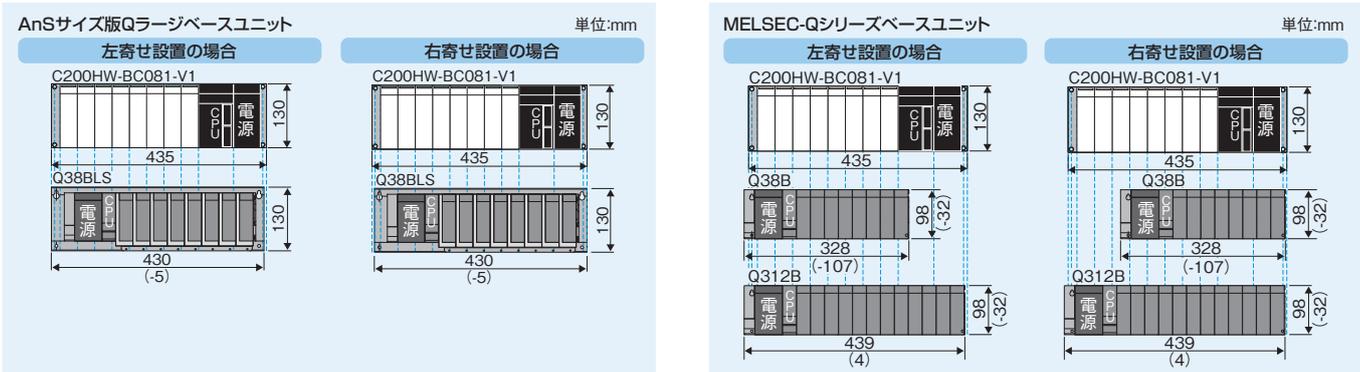
AnSサイズ版QラージベースユニットはSYSMAC C200Hシリーズと取付け穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。MELSEC-QシリーズベースユニットはSYSMAC C200Hシリーズと取付け穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付け穴を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC C200Hシリーズとの外形寸法差です。

### 基本ベースユニットを使用する場合

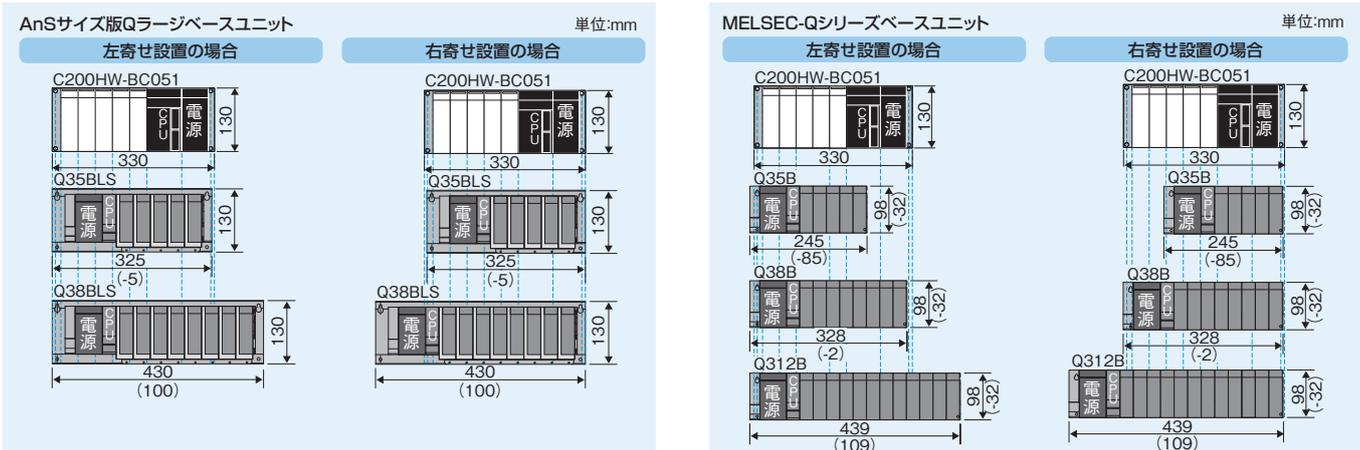
#### (1) C200HW-BC101-V1 → Q38BLS / Q312B



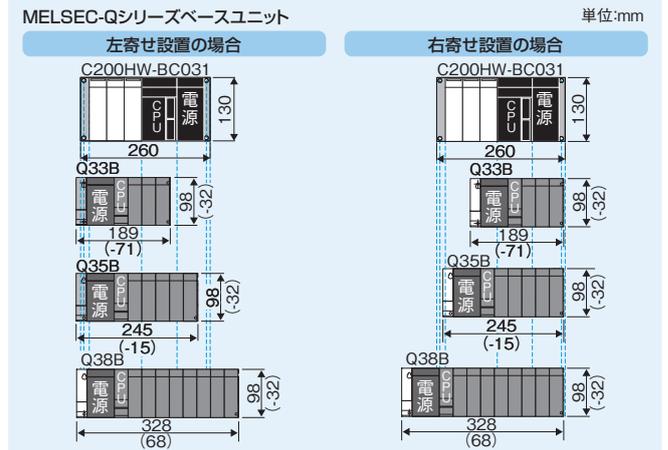
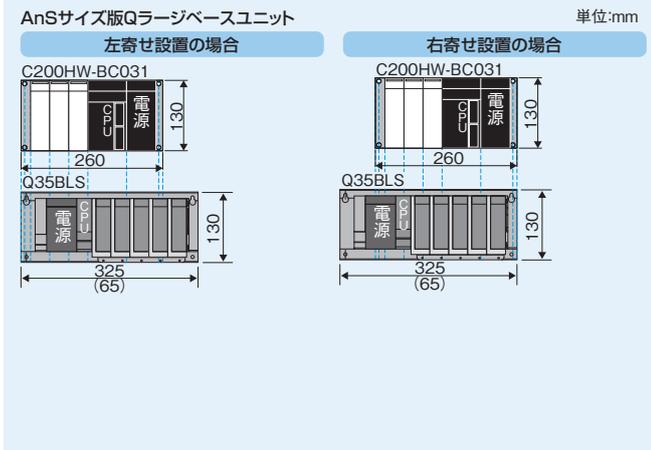
#### (2) C200HW-BC081-V1 → Q38BLS / Q38B、Q312B



#### (3) C200HW-BC051 → Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

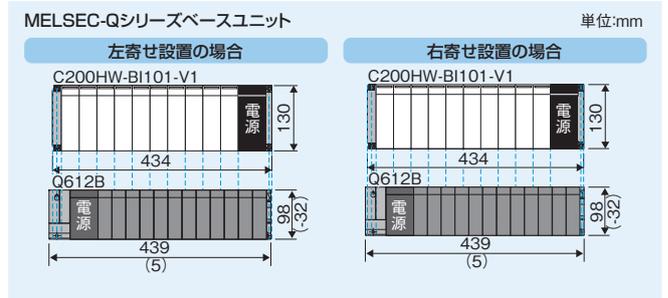
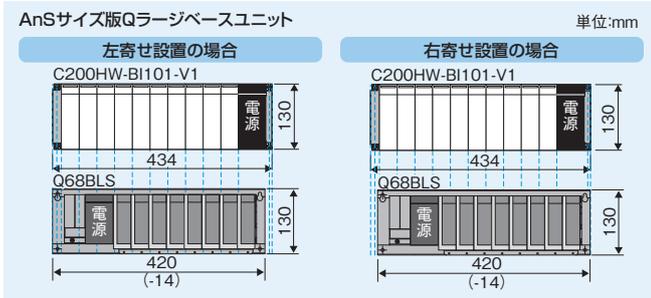


(4) C200HW-BC031 → Q35BLS / Q33B, Q35B, Q38B

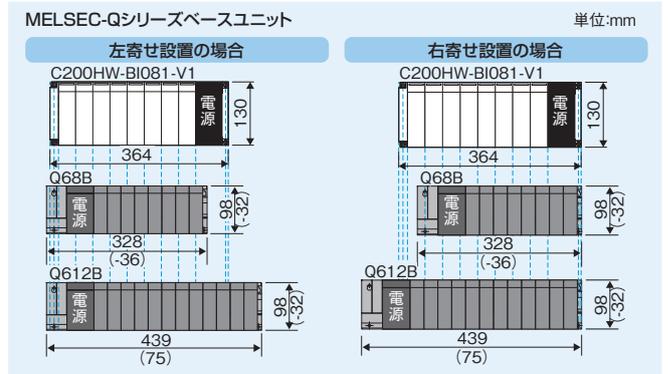
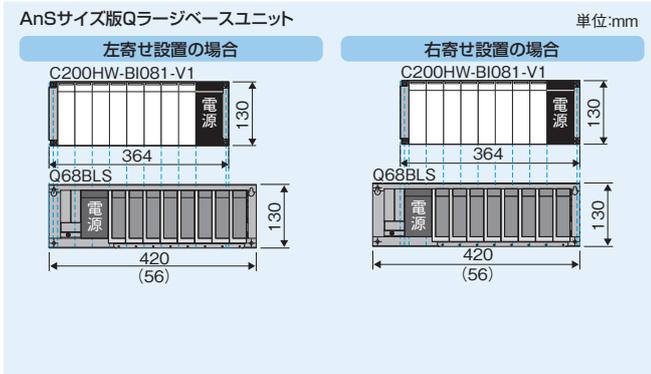


増設ベースユニットを使用する場合

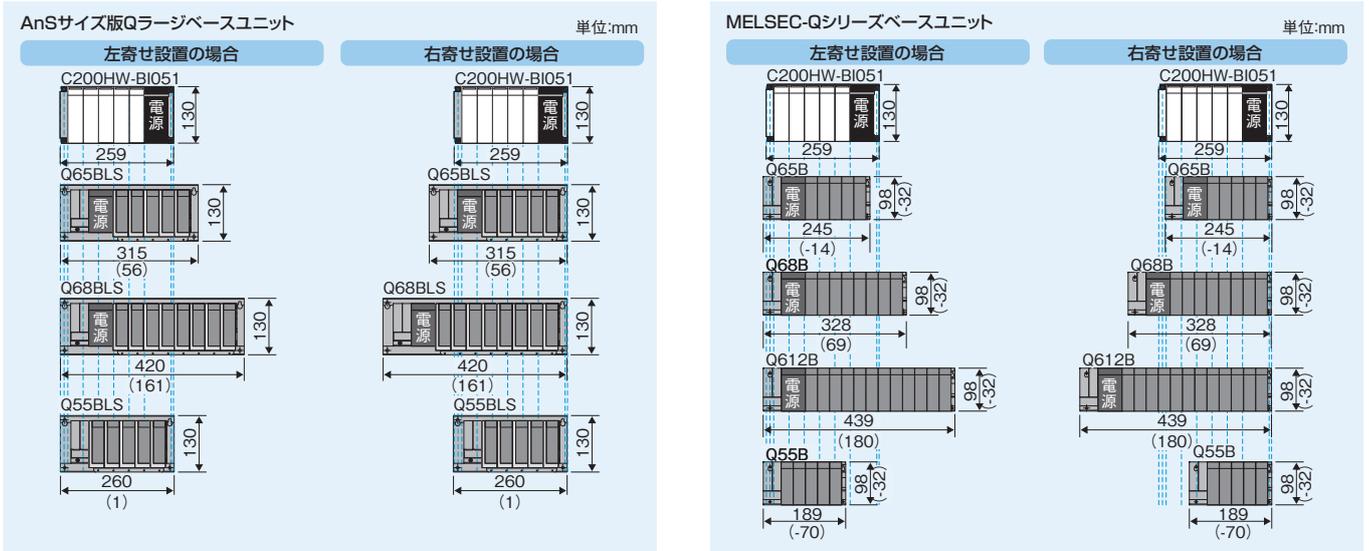
(1) C200HW-BI101-V1 → Q68BLS / Q612B



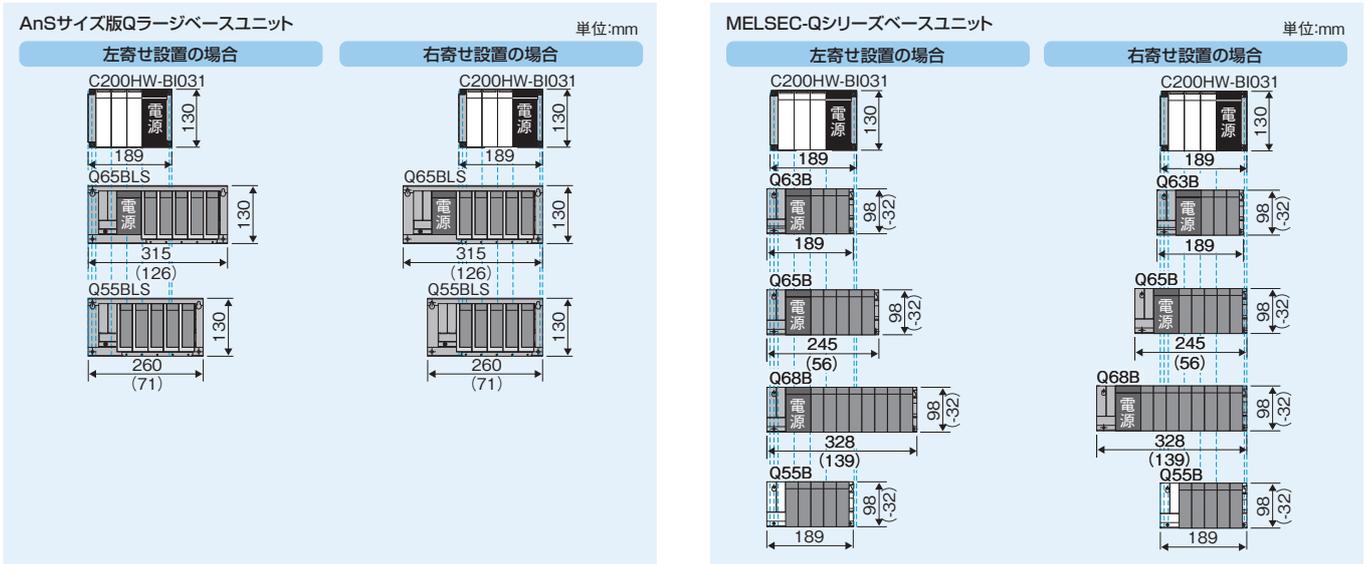
(2) C200HW-BI081-V1 → Q68BLS / Q68B, Q612B



**(3) C200HW-BI051 → Q65BLS, Q68BLS, Q55BLS / Q65B, Q68B, Q612B, Q55B**



**(4) C200HW-BI031 → Q65BLS, Q55BLS / Q63B, Q65B, Q68B, Q55B**



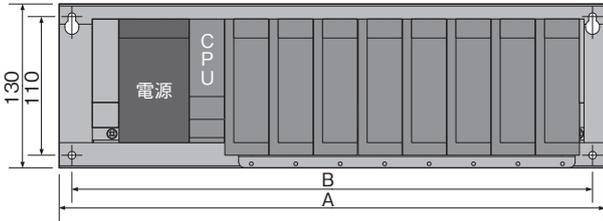
**CSシリーズ対応品**

**取付け寸法**

SYSMAC CSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

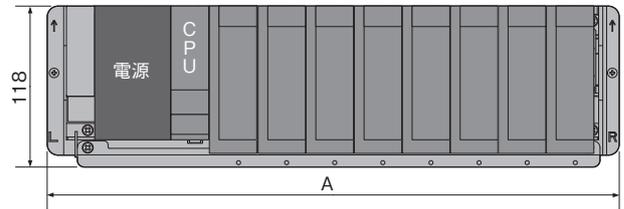
単位：mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット  
盤面取付けタイプ



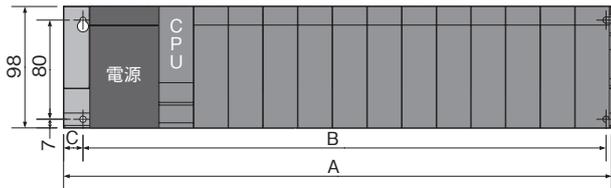
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内 容	A	B	取付け穴 ネジ サイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット (電源あり)	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット (電源なし)	260	240	

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット  
DINレール取付けタイプ



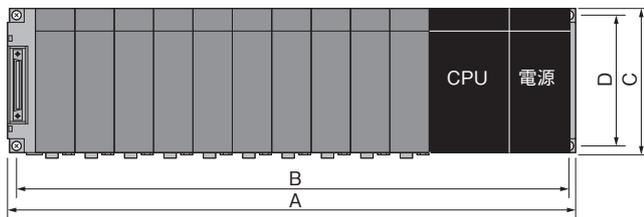
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内 容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット (電源あり)	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット (電源なし)	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内 容	A	B	C	取付け穴 ネジ サイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B	増設ベースユニット (電源あり)	245	222.4	15.5	
Q63B	増設ベースユニット (電源なし)	189	167	15.5	
Q55B		189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎ (参考) CSシリーズベースユニット



CSシリーズ ベースユニット形名	内 容	A	B	C	D	取付け穴 ネジ サイズ
CS1W-BC102, CS1W-BC103	CPUベースユニット	505	491	132	118	M4
CS1W-BC082, CS1W-BC083		435	421			
CS1W-BC052, CS1W-BC053		330	316			
CS1W-BC032, CS1W-BC033		260	246			
CS1W-BC022, CS1W-BC023	増設ベースユニット	198.5	172.3	157	145	
CS1W-BI102, CS1W-BI103	増設ベースユニット	505	491	130	118	
CS1W-BI082, CS1W-BI083		435	421			
CS1W-BI052, CS1W-BI053		330	316			
CS1W-BI032, CS1W-BI033		260	246			

## 置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

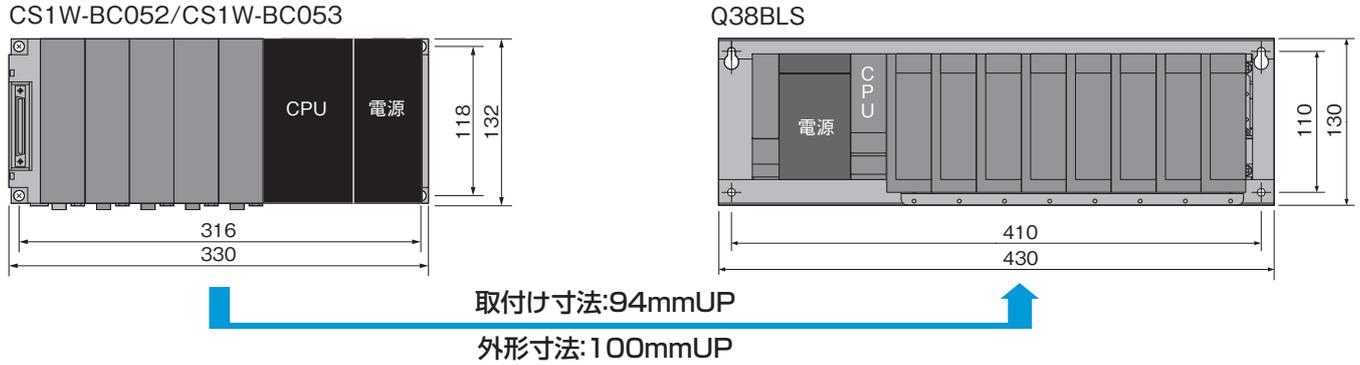
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴寸法が確認できます。

### ご注意

“▲”の箇所は置換え際に下記(例)の様に寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。  
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

(例) CS (CS1W-BC102/CS1W-BC103) からAnSサイズ版Qラージベースユニット (Q38BLS) に置換えした場合

単位:mm



## AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

### ① 基本ベースユニットを使用する場合

◎: 同一、○: CSシリーズの方が大きい、▲: CSシリーズの方が小さい

CSシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット						MELSEC-Qシリーズベースユニット						備考		
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (AnSサイズ版Qラージ-CSシリーズ)				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-CSシリーズ)				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法			取付け寸法 ※2	
						横	縦	横	縦				横	縦		横	縦
CS1W-BC102, CS1W-BC103	あり	10	Q38BLS	あり	8	○ (-75)	○ (-2)	○ (-81)	○ (-8)	Q312B	あり	12	○ (-66)	○ (-34)	○ (-72)	○ (-38)	
CS1W-BC082, CS1W-BC083	あり	8	Q38BLS	あり	8	○ (-5)	○ (-2)	○ (-11)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (4)	○ (-34)	○ (-2)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-107)	○ (-34)	○ (-113)	○ (-38)	
CS1W-BC052, CS1W-BC053	あり	5	Q38BLS	あり	8	▲ (100)	○ (-2)	▲ (94)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (109)	○ (-34)	▲ (103)	○ (-38)	
			Q38B	あり	8	○ (-2)	○ (-34)	○ (-8)	○ (-38)								
			Q35BLS	あり	5	○ (-5)	○ (-2)	○ (-11)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-85)	○ (-34)	○ (-91.6)	○ (-38)	
CS1W-BC032, CS1W-BC033	あり	3	Q38BLS	あり	8	▲ (170)	○ (-2)	▲ (164)	○ (-8)	Q38B	あり	8	▲ (68)	○ (-34)	▲ (62)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	▲ (65)	○ (-2)	▲ (59)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-15)	○ (-34)	○ (-21.6)	○ (-38)	
			Q33B	あり	3	○ (-71)	○ (-34)	○ (-77)	○ (-38)								
CS1W-BC022, CS1W-BC023	あり	2	Q35BLS	あり	5	▲ (126.5)	○ (-27)	▲ (132.7)	○ (-35)	Q35B	あり	5	▲ (46.5)	○ (-59)	▲ (52.1)	○ (-65)	
										Q33B	あり	3	○ (-9.5)	○ (-59)	○ (-3.3)	○ (-65)	

・外形寸法、  
取付け穴ピッチにより盤面  
の位置を再  
検討する必  
要がある

※1:( )値はMELSEC-QシリーズとCSシリーズの寸法差[単位:mm] ※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CSシリーズの方が大きい、▲：CSシリーズの方が小さい

CSシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (AnSサイズ版Qラージ-CSシリーズ)				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-CSシリーズ)				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
CS1W-BI102、 CS1W-BI103	あり	10	Q68BLS	あり	8	○ (-85)	◎	○ (-91)	○ (-8)	Q612B	あり	12	○ (-66)	○ (-32)	○ (-74)	○ (-38)	
CS1W-BI082、 CS1W-BI083	あり	8	Q68BLS	あり	8	○ (-15)	◎	○ (-21)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (4)	○ (-32)	○ (-4)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	○ (-107)	○ (-32)	○ (-115)	○ (-38)	
CS1W-BI052、 CS1W-BI053	あり	5	Q68BLS	あり	8	▲ (90)	◎	▲ (84)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (109)	○ (-32)	▲ (101)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	○ (-15)	◎	○ (-21)	○ (-8)	Q68B	あり	8	○ (-2)	○ (-32)	○ (-10)	○ (-38)	
										Q65B	あり	5	○ (-85)	○ (-32)	○ (-93.6)	○ (-38)	
Q55BLS	なし	5	○ (-70)	◎	○ (-76)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-141)	○ (-32)	○ (-149)	○ (-38)				
CS1W-BI032、 CS1W-BI033	あり	3	Q68BLS	あり	8	▲ (160)	◎	▲ (154)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (68)	○ (-32)	▲ (60)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (55)	◎	▲ (49)	○ (-8)	Q65B	あり	5	○ (-15)	○ (-32)	○ (-23.6)	○ (-38)	
										Q63B	あり	3	○ (-71)	○ (-32)	○ (-79)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	◎	◎	○ (-6)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-71)	○ (-32)	○ (-79)	○ (-38)	

※1：( )値はMELSEC-QシリーズとCSシリーズの寸法差[単位:mm] ※2：穴同士の距離が近い場合、注意が必要

・外形寸法、  
取付け穴ピッチにより盤面  
の位置を再  
検討する場  
合がある

## スロット位置

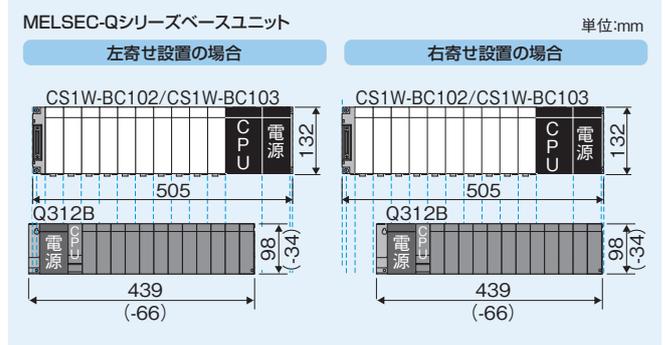
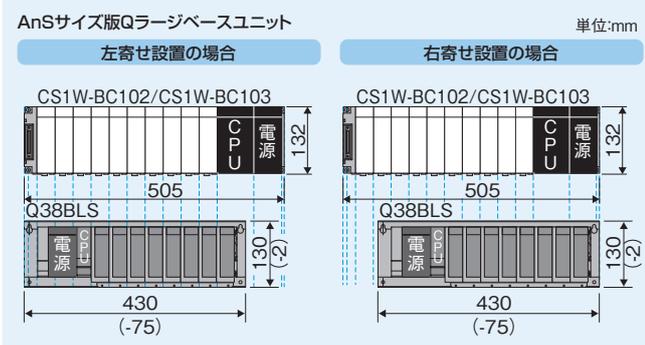
SYSMAC CSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

### ご注意

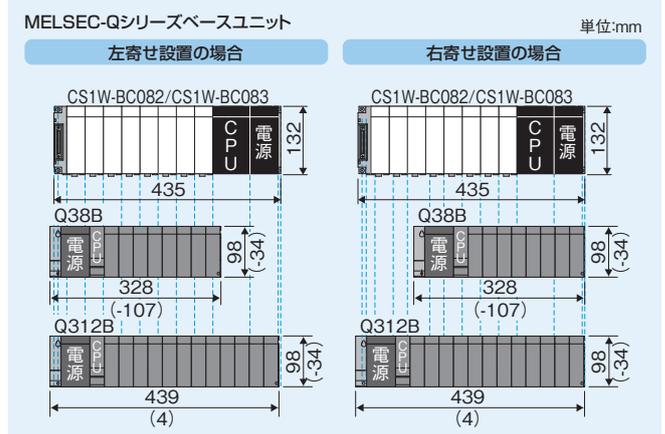
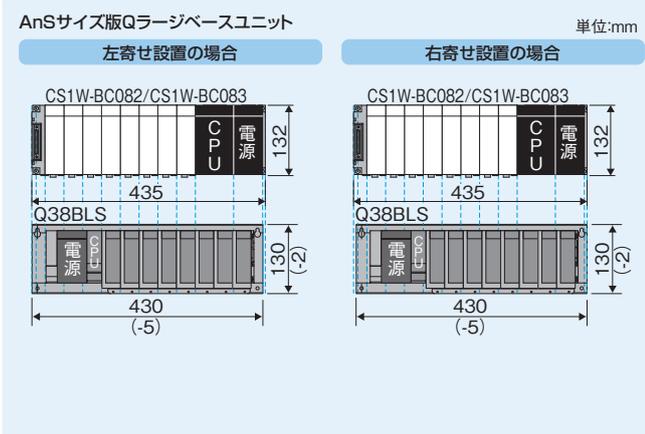
AnSサイズ版QラージベースユニットはSYSMAC CSシリーズと取付け穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。MELSEC-QシリーズベースユニットはSYSMAC CSシリーズと取付け穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付け穴を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC CSシリーズとの外形寸法差です。

### 基本ベースユニットを使用する場合

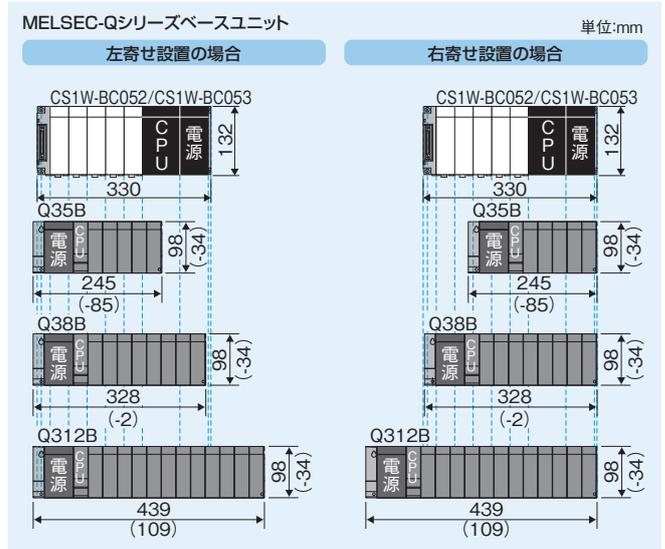
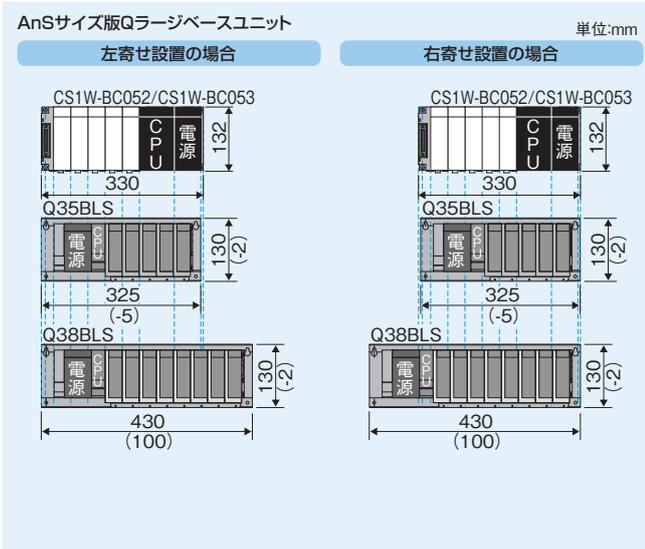
#### (1) CS1W-BC102、CS1W-BC103 → Q38BLS / Q312B



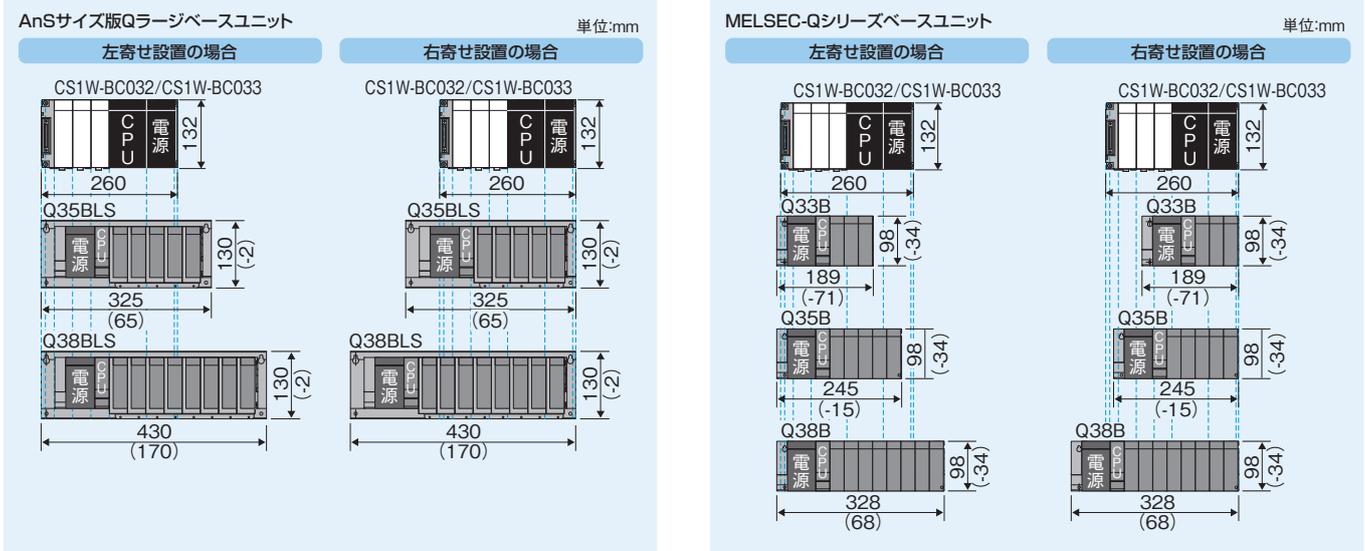
#### (2) CS1W-BC082、CS1W-BC083 → Q38BLS / Q38B、Q312B



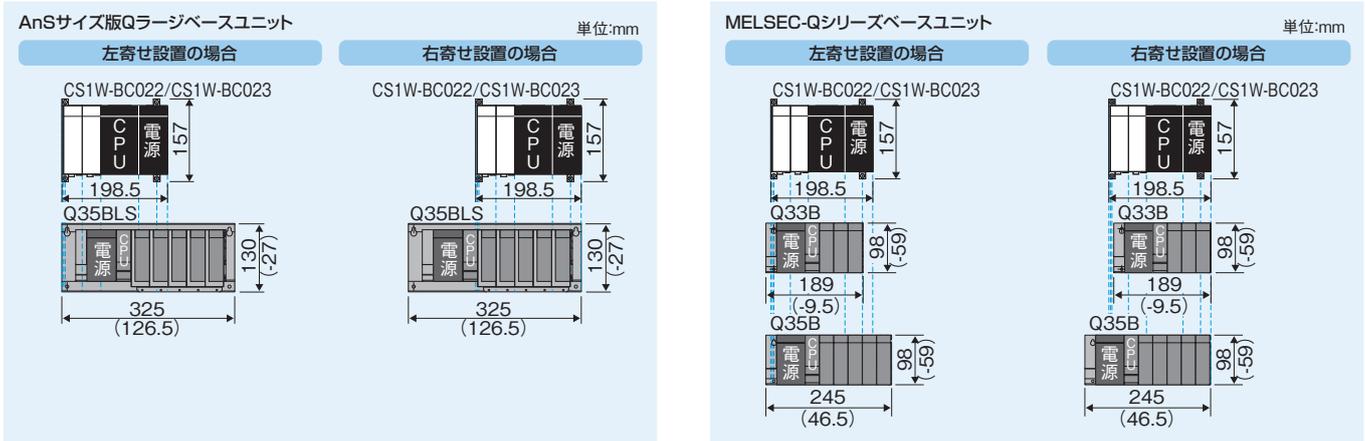
#### (3) CS1W-BC052、CS1W-BC053 → Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B



(4) CS1W-BC032、CS1W-BC033 → Q35BLS、Q38BLS / Q33B、Q35B、Q38B

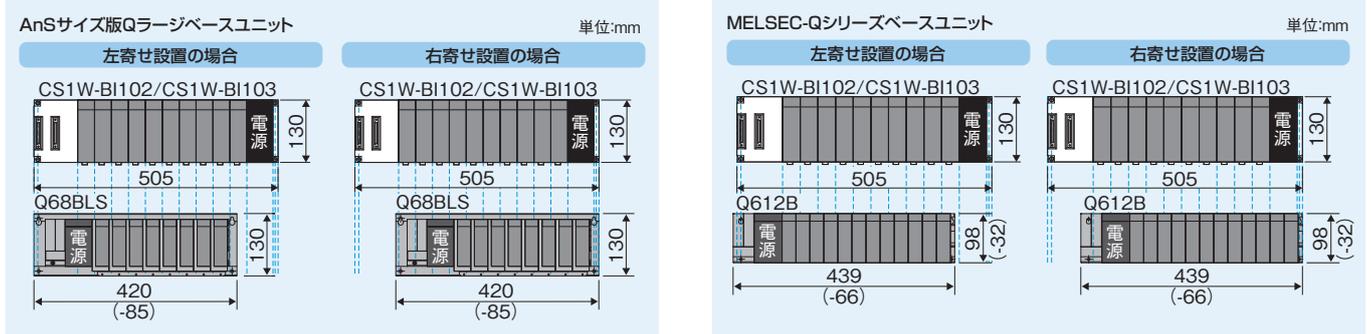


(5) CS1W-BC022、CS1W-BC023 → Q35BLS / Q33B、Q35B

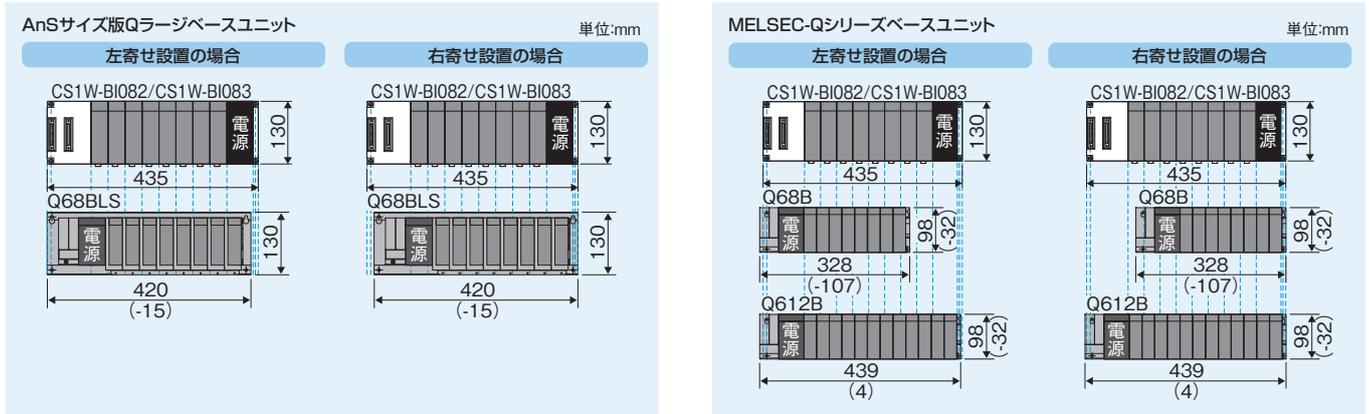


## 増設ベースユニットを使用する場合

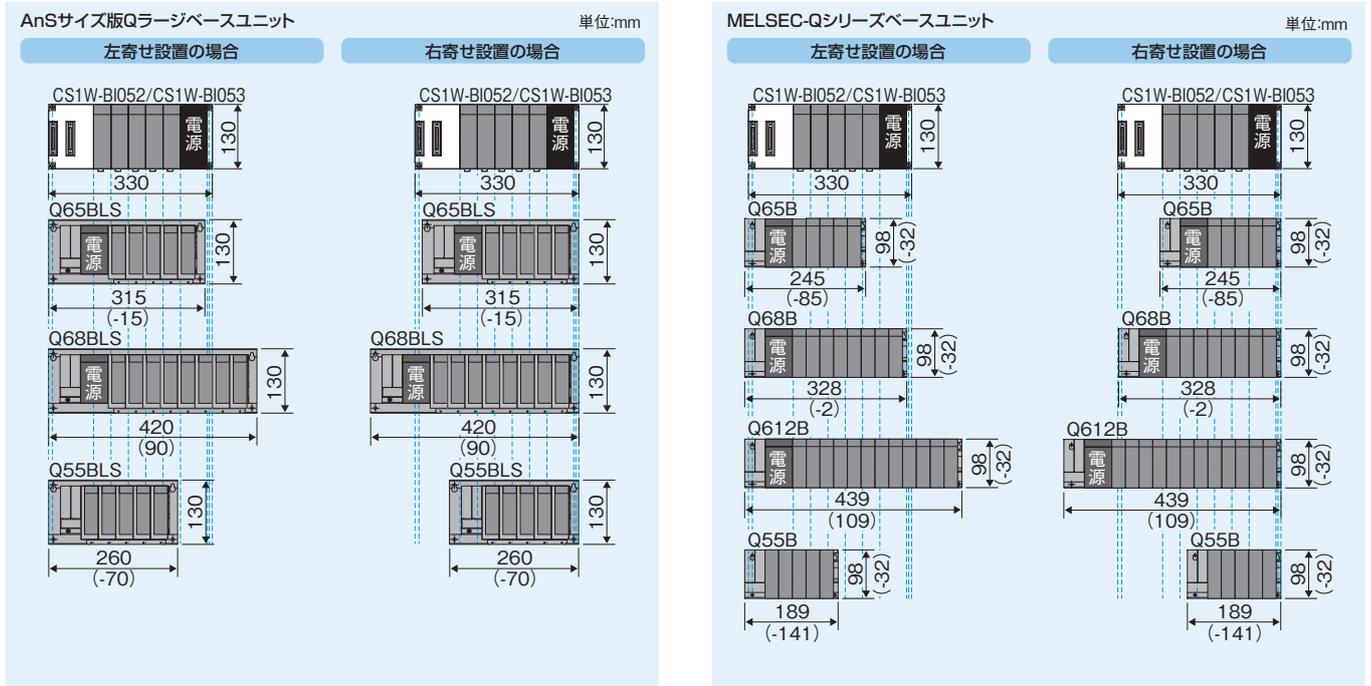
### (1) CS1W-BI102、CS1W-BI103 → Q68BLS / Q612B



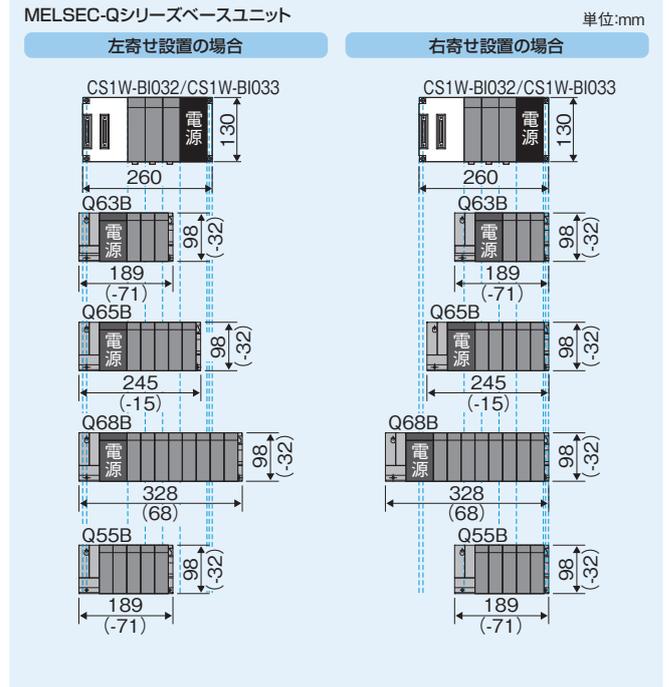
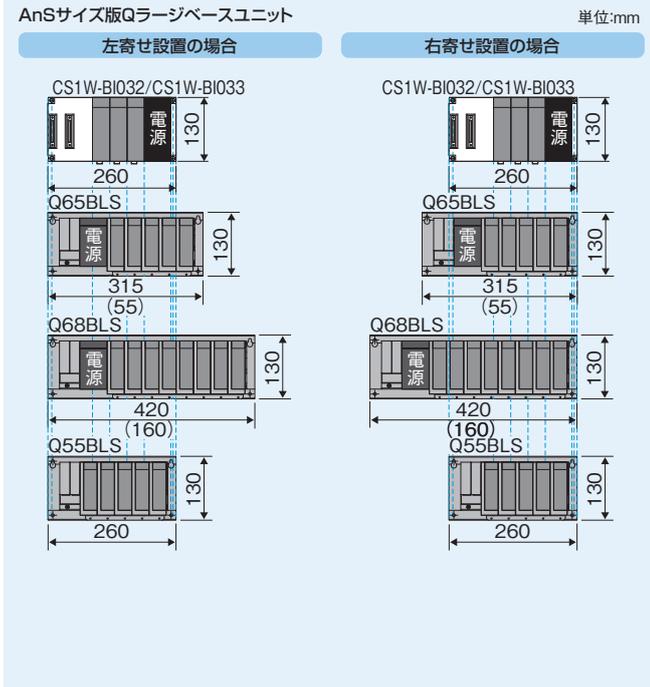
### (2) CS1W-BI082、CS1W-BI083 → Q68BLS / Q68B、Q612B



### (3) CS1W-BI052、CS1W-BI053 → Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B



(4) CS1W-BI032、CS1W-BI033 → Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q63B、Q65B、Q68B、Q55B



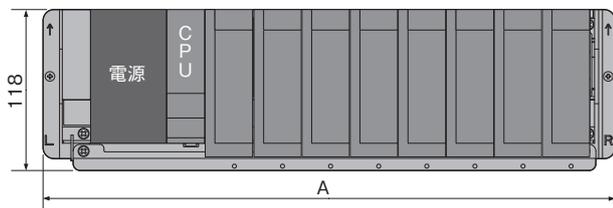
## CQM1シリーズ対応品

### 取付け寸法

SYSMAC CQM1シリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

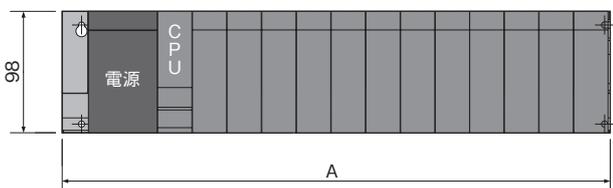
単位: mm

#### ◎AnSサイズ版Qラージベースユニット DINレール取付けタイプ



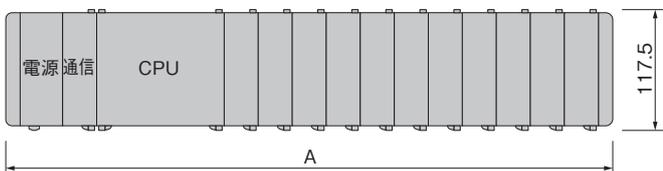
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内 容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット(電源あり)	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット(電源なし)	248

#### ◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内 容	A
Q312B	基本ベースユニット	439
Q38B		328
Q35B		245
Q33B		189
Q612B	増設ベースユニット(電源あり)	439
Q68B		328
Q65B		245
Q63B		189
Q55B	増設ベースユニット(電源なし)	189
Q52B		106

#### ◎(参考) CQM1シリーズベースユニット



CQM1シリーズ ベースユニット形名	内 容	A
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203	571
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚		539
CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚		443
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚		347
CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚		283
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026	603
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚		571
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚		475
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚		315
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203 I/O増設あり	411
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026 I/O増設あり	443
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		411
I/O増設装置 I/Oユニット11枚	I/O増設装置	412.2
I/O増設装置 I/Oユニット8枚		316.2
I/O増設装置 I/Oユニット5枚		220.2
I/O増設装置 I/Oユニット3枚		156.2

## 置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

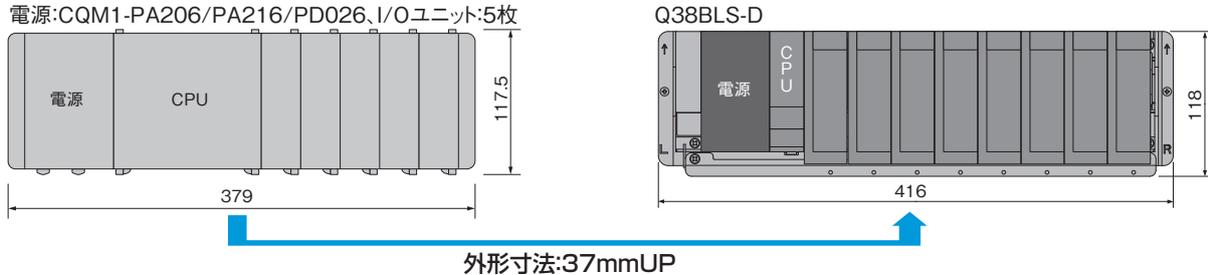
下記の表により、置換え前後の外形寸法が確認できます。

### ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記(例)の様に寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。  
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

(例) CQM1 (電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:5枚) からAnSサイズ版Qラージベースユニット (Q38BLS-D) に置換えした場合

単位:mm



## AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

### ① 基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:CQM1シリーズの方が大きい、▲:CQM1シリーズの方が小さい

構成例	CQM1シリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット				MELSEC-Qシリーズベースユニット				備考	
	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1 (AnSサイズ版Qラージ-CQM1シリーズ)		形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-CQM1シリーズ)		
						横	縦				横		縦
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	Q38BLS-D	あり	8	○ (-187)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-164)	○ (-19.5)	*外形寸法により盤面の位置を再検討する必要がある
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚	あり	11	Q38BLS-D	あり	8	○ (-155)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-132)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚	あり	8	Q38BLS-D	あり	8	○ (-59)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-36)	○ (-19.5)	
			Q38B	あり	8	○ (-147)	○ (-19.5)						
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (37)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-51)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-68)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-134)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚	あり	3	Q35BLS-D	あり	5	○ (-4)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-70)	○ (-19.5)	
			Q33B	あり	3	○ (-126)	○ (-19.5)						
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	Q38BLS-D	あり	8	○ (-155)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-132)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚	あり	11	Q38BLS-D	あり	8	○ (-123)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-100)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚	あり	8	Q38BLS-D	あり	8	○ (-27)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-4)	○ (-19.5)	
			Q38B	あり	8	○ (-115)	○ (-19.5)						
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (69)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-19)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-36)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-102)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚	あり	3	Q35BLS-D	あり	5	▲ (28)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-38)	○ (-19.5)	
			Q33B	あり	3	○ (-94)	○ (-19.5)						
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	○ (-27)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-115)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-132)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-198)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (5)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-83)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-100)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-166)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (5)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-83)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-100)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-166)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (37)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-51)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-68)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-134)	○ (-19.5)	

※1:( )値はMELSEC-QシリーズとCQM1シリーズの寸法差 [単位:mm] ※2:構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既設システムのご確認をお願いします。

## ② 増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CQM1シリーズの方が大きい、▲：CQM1シリーズの方が小さい

構成例	CQM1シリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット					MELSEC-Qシリーズベースユニット					備考
	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較※1 (AnSサイズ版Qラージ-CQM1シリーズ)		形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較※1 (MELSEC-Q-CQM1シリーズ)			
						横	縦				横	縦		
I/O増設装置 I/Oユニット11枚	あり	11	Q68BLS-D	あり	8	○ (-3.2)	▲ (0.5)	Q612B	あり	12	▲ (26.8)	○ (-19.5)	外形寸法により盤面の位置を再検討する必要がある	
I/O増設装置 I/Oユニット8枚	あり	8	Q68BLS-D	あり	8	▲ (92.8)	▲ (0.5)	Q68B	あり	8	▲ (11.8)	○ (-19.5)		
I/O増設装置 I/Oユニット5枚	あり	5	Q65BLS-D	あり	5	▲ (83.8)	▲ (0.5)	Q65B	あり	5	▲ (24.8)	○ (-19.5)		
			Q55BLS-D	なし	5	▲ (27.8)	▲ (0.5)	Q55B	なし	5	○ (-31.2)	○ (-19.5)		
I/O増設装置 I/Oユニット3枚	あり	3	Q65BLS-D	あり	5	▲ (147.8)	▲ (0.5)	Q63B	あり	3	▲ (32.8)	○ (-19.5)		
			Q55BLS-D	なし	5	▲ (91.8)	▲ (0.5)	Q55B	なし	5	▲ (32.8)	○ (-19.5)		

※1：( )値はMELSEC-QシリーズとCQM1シリーズの寸法差 [単位:mm] ※2:構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既設システムのご確認をお願いします。

## スロット位置

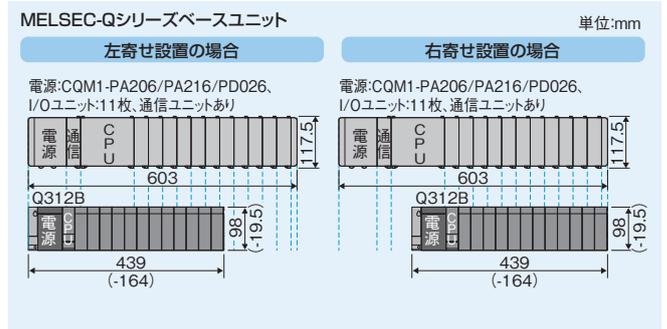
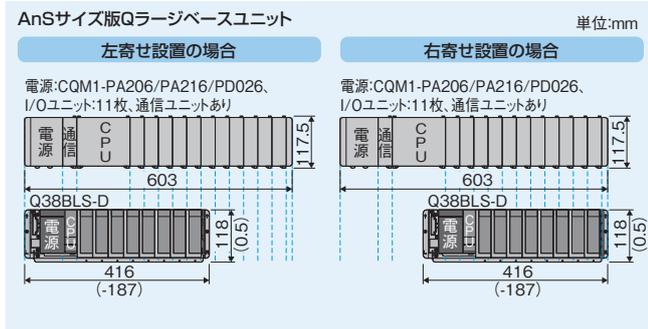
SYSMAC CQM1シリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

### ご注意

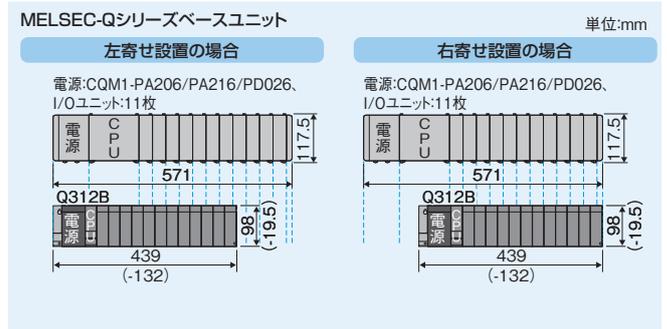
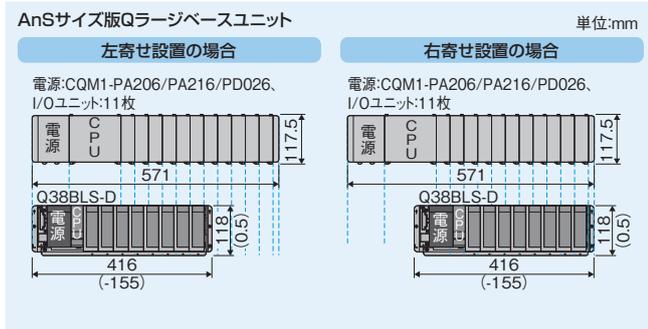
SYSMAC CQM1シリーズのスロット位置に対して、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC CQM1シリーズとの外形寸法差です。

## 基本ベースユニットを使用する場合

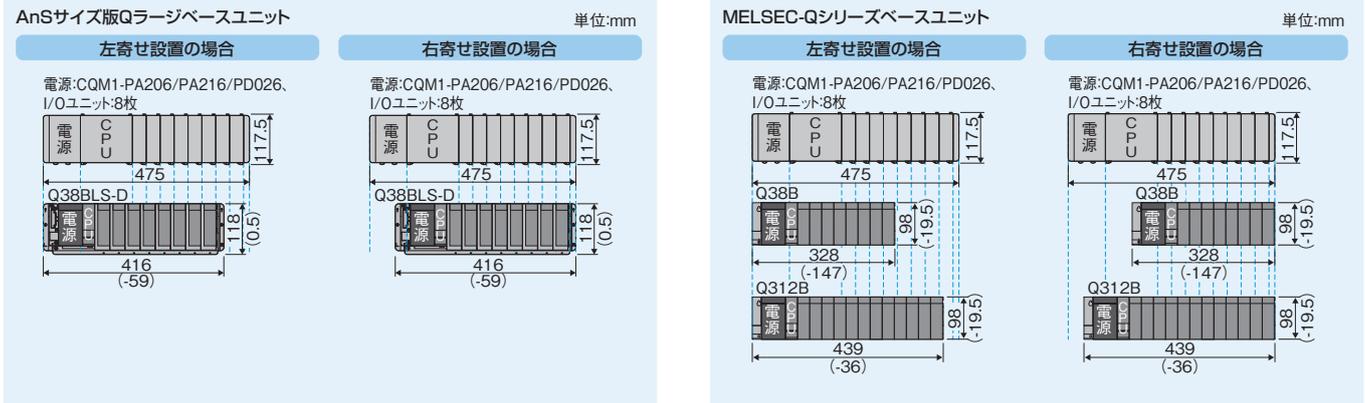
### (1) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり → Q38BLS-D / Q312B



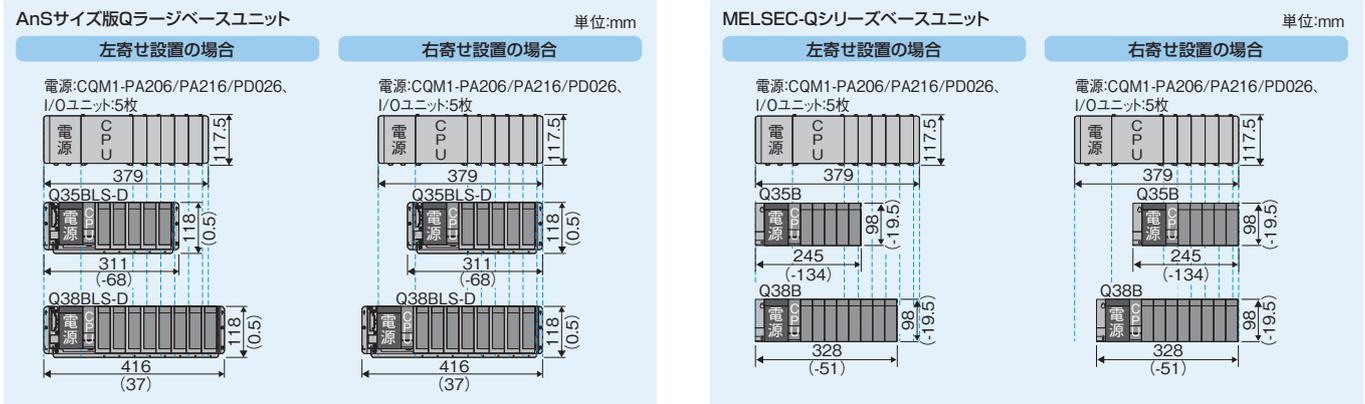
### (2) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚 → Q38BLS-D / Q312B



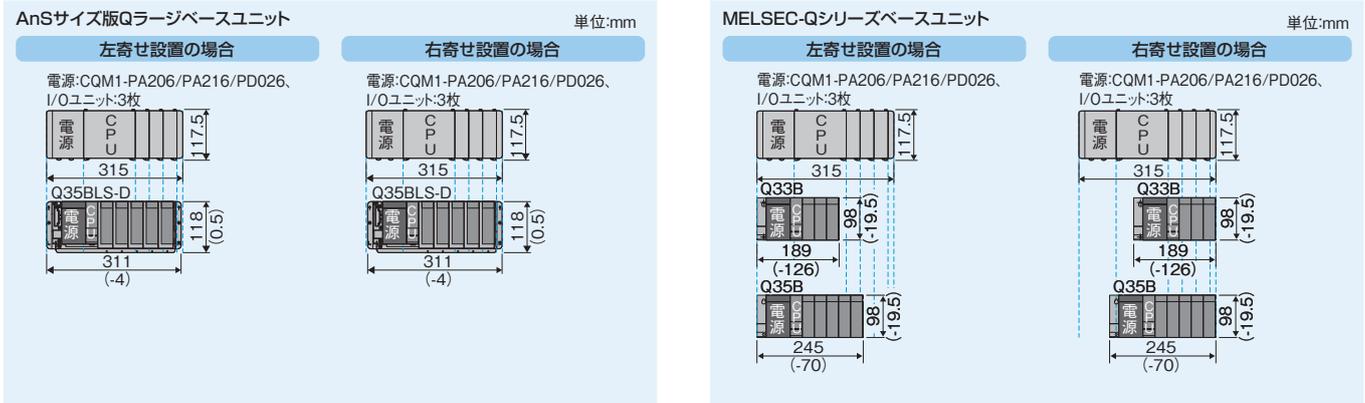
### (3) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚 → Q38BLS-D / Q38B、Q312B



### (4) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B



### (5) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚 → Q35BLS-D / Q33B、Q35B

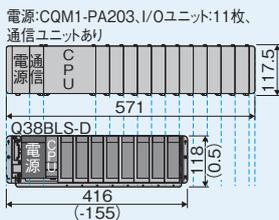


### (6) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり → Q38BLS-D / Q312B

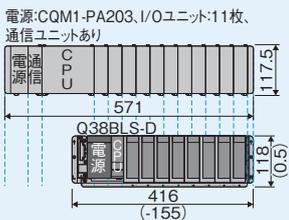
AnSサイズ版Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



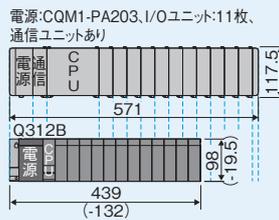
右寄せ設置の場合



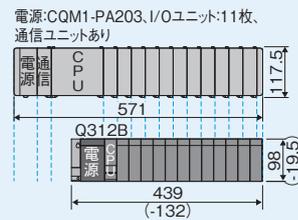
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

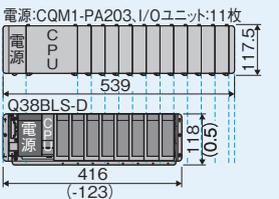


### (7) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚 → Q38BLS-D / Q312B

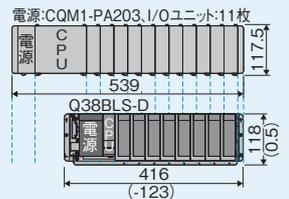
AnSサイズ版Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



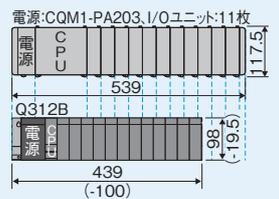
右寄せ設置の場合



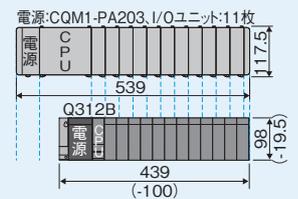
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

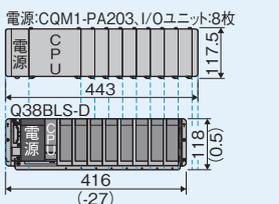


### (8) CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚 → Q38BLS-D / Q38B、Q312B

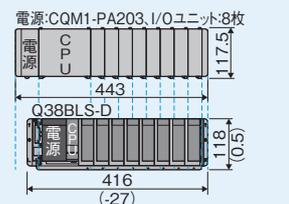
AnSサイズ版Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



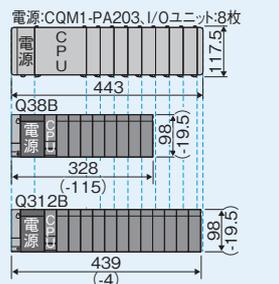
右寄せ設置の場合



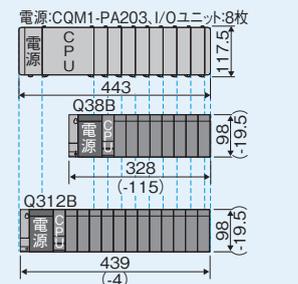
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

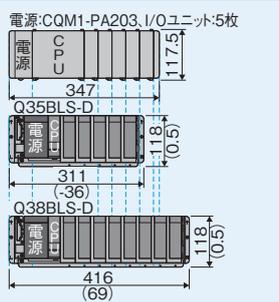


### (9) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

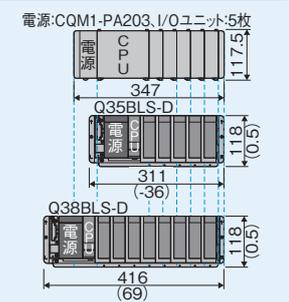
AnSサイズ版Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



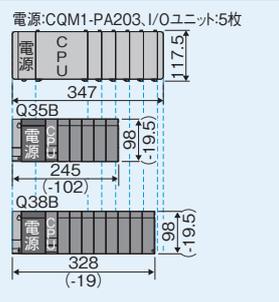
右寄せ設置の場合



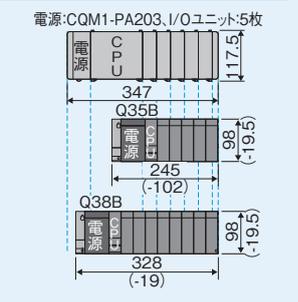
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

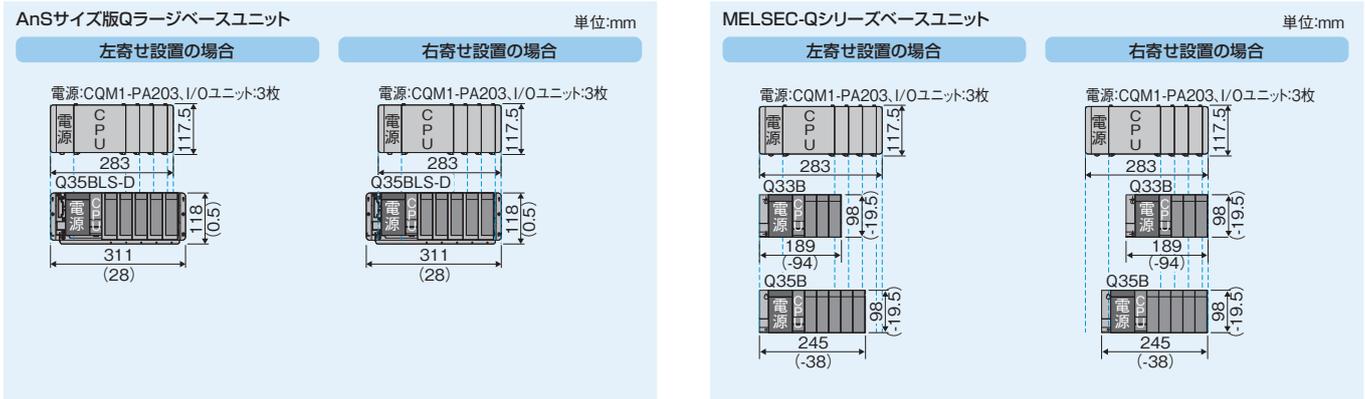
左寄せ設置の場合



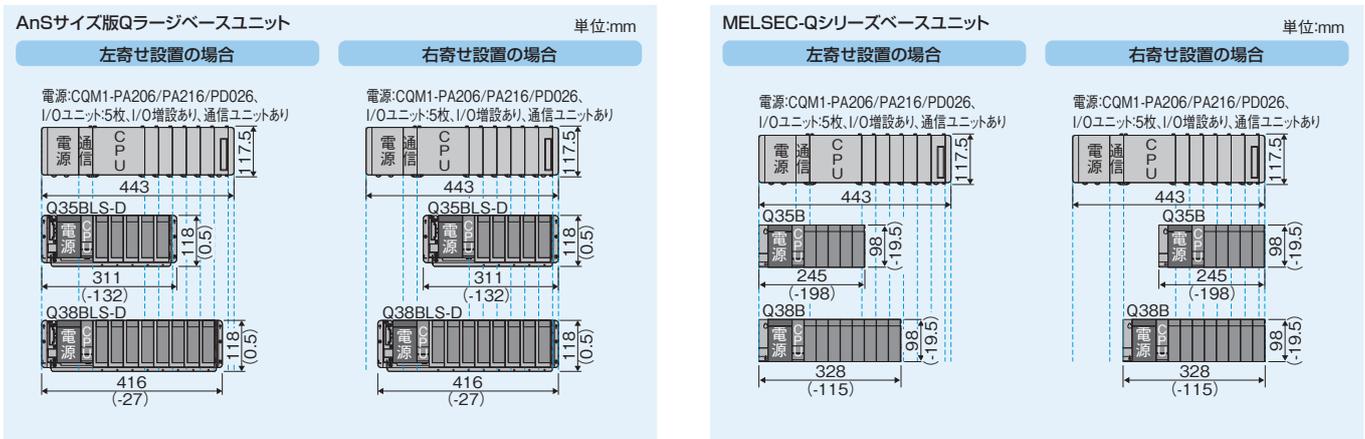
右寄せ設置の場合



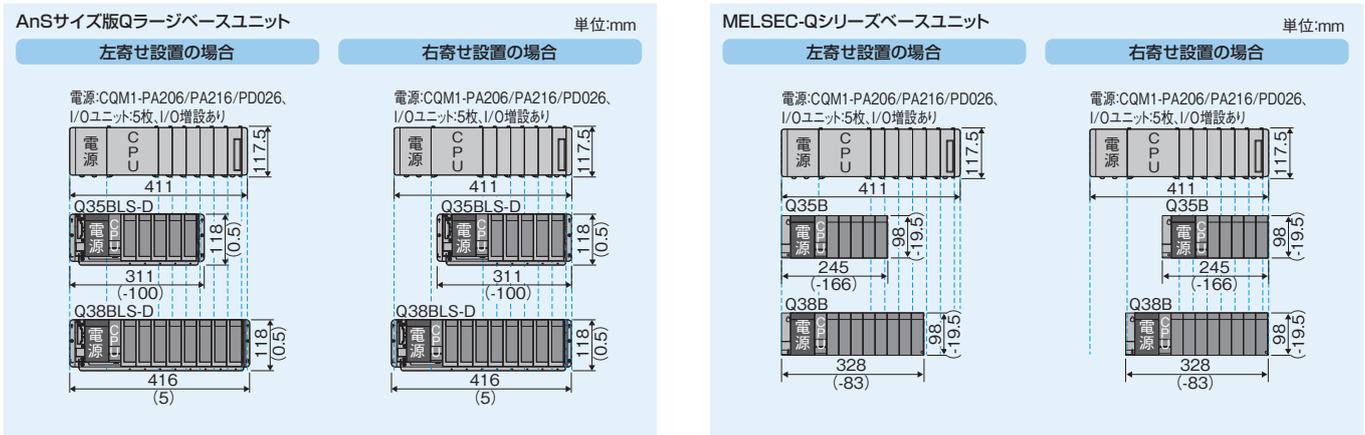
(10) CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚 → Q35BLS-D / Q33B、Q35B



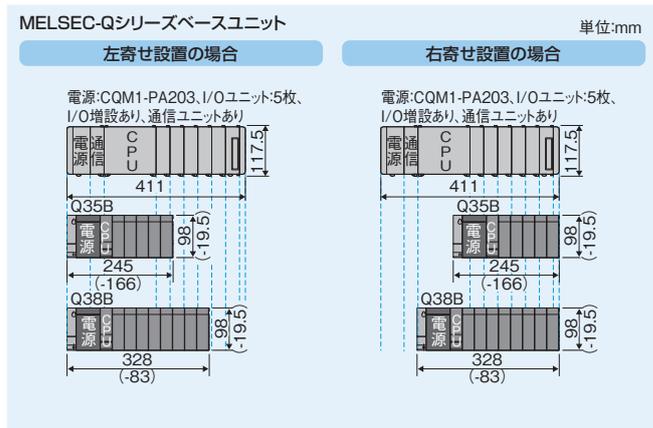
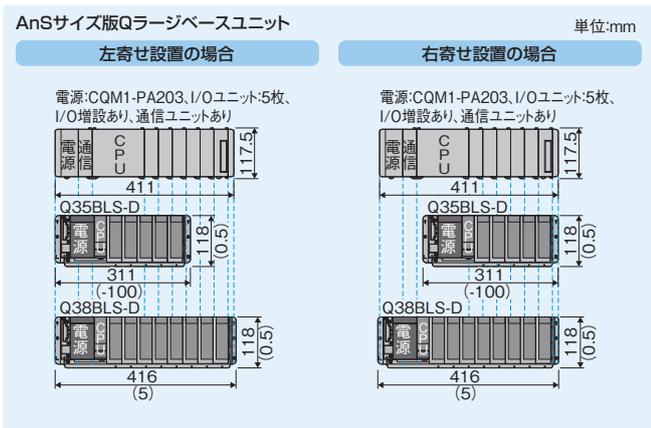
(11) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり  
 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B



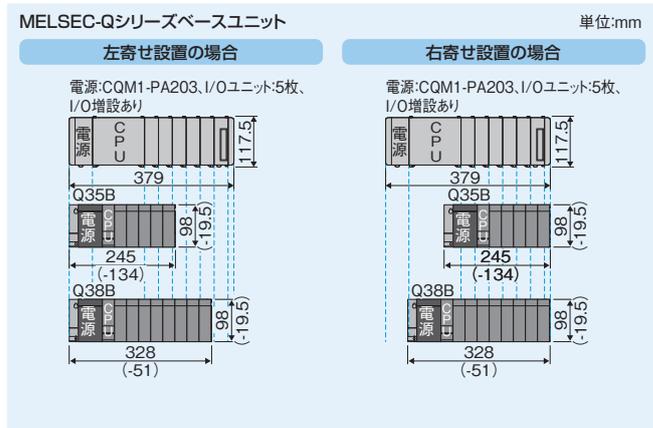
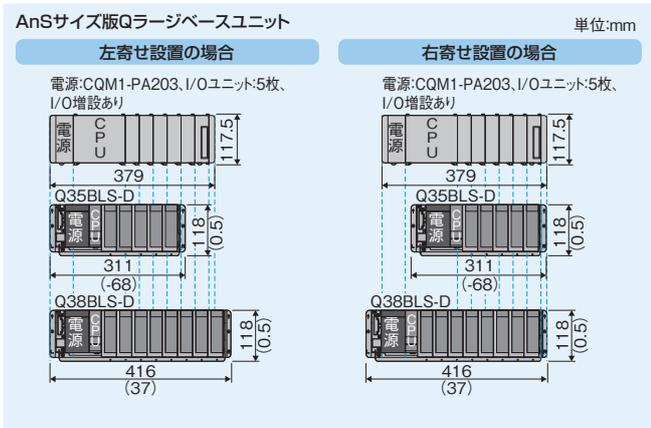
(12) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり  
 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B



**(13) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり  
→ Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B**

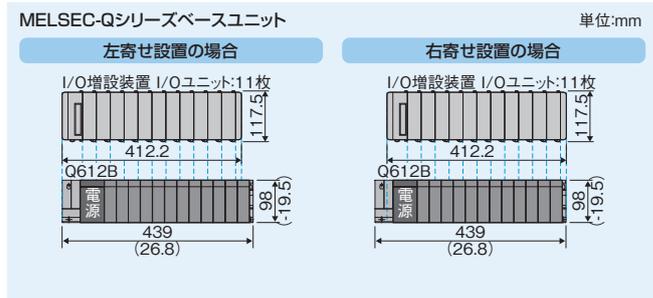
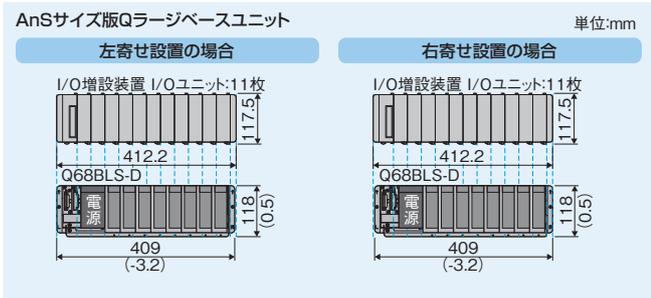


**(14) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B**

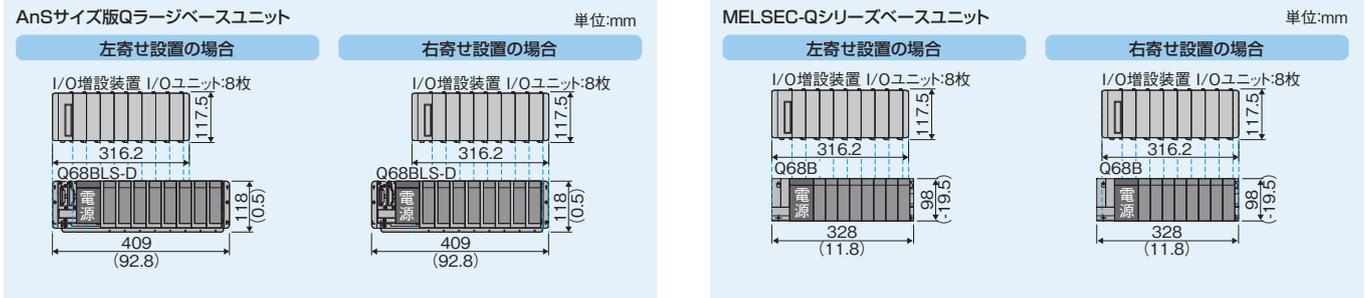


**増設ベースユニットを使用する場合**

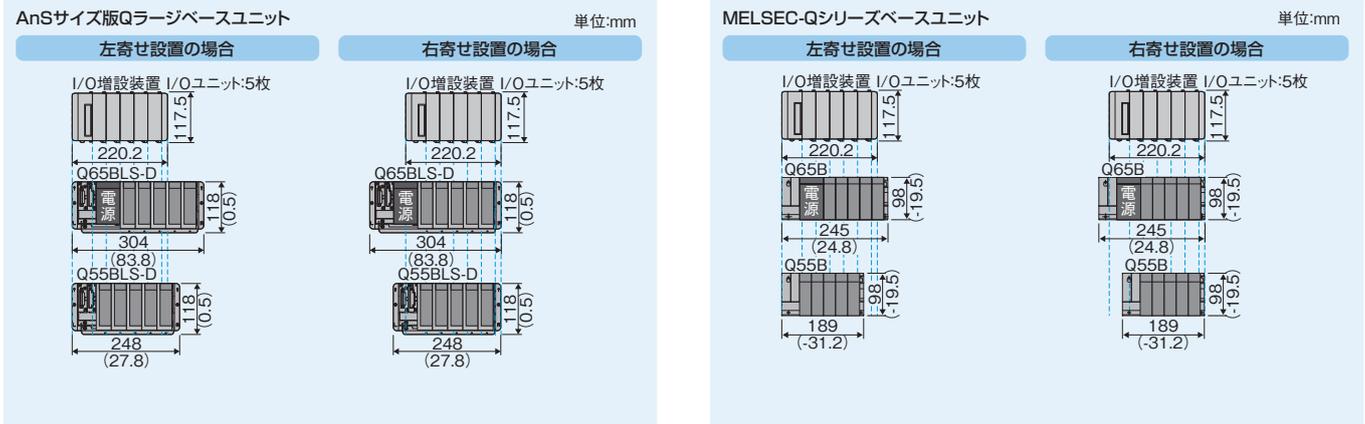
**(1) I/O増設装置 I/Oユニット11枚 → Q68BLS-D / Q612B**



(2) I/O増設装置 I/Oユニット8枚 → Q68BLS-D / Q68B



(3) I/O増設装置 I/Oユニット5枚 → Q65BLS-D、Q55BLS-D / Q65B、Q55B



(4) I/O増設装置 I/Oユニット3枚 → Q65BLS-D、Q55BLS-D / Q63B、Q55B

